

2021年2月3日

各位

東洋紡株式会社

当社エンジニアリングプラスチック製品についての不適切事案に関するご報告

当社が製造販売しておりますポリブチレンテレフタレート(PBT)樹脂「プラナック®」について、2020年10月28日付開示資料の通り、品質に関する不適切な事案を確認したことを受けて、2020年12月29日開示資料の通り、第三者による調査等も踏まえ、「プラナック®」以外の製品についても調査を進めてまいりました。このたび、新たに当社エンジニアリングプラスチック製品「バイロペット®」「グラマイド®」「ペルプレン®」(以下、「本製品群」といいます。)についても不適切な事案(以下、「本件」といいます。)を確認しましたので、下記の通りご報告いたします。

なお、本件について、米国の第三者安全科学機関である Underwriters Laboratories(以下、「UL」といいます。)に報告等を行なった結果、本製品群の UL 認証は2021年2月3日付で取り消される旨、ULより通知を受領しましたので併せてお知らせいたします。度重なる不適切な事案により、お客様をはじめ、関係者の皆さまには、多大なご迷惑とご心配をお掛けしますことを深くお詫び申し上げます。

記

1. 本件の概要

(1)「バイロペット®」「グラマイド®」

- 一部の品番について、ULによる確認試験時に、顧客に販売している製品と異なる組成のサンプルを複製し、提出していたことを確認しました。
- 一部の品番について、UL 認証を取得する際に登録した組成と一部異なる組成の製品を製造、販売していたことを確認しました。
- 一部の品番について、UL 認証を取得している製品と同じ要求性能を一部満たしていない製品を製造、販売していたことを確認しました。

(2)「バイロペット®」「グラマイド®」「ペルプレン®」

- 一部の品番について、UL 認証を取得している製品を製造する許可を受けていない工場で製造を行っていることを確認しました。

2. 本件に関連する UL 認証の取消しについて

(1)対象品目

UL 認証を取得している「バイロペット®」「グラマイド®」「ペルプレン®」のすべての品番

(2)認証の取消日(予定)

2021年2月3日

3. 本製品群の安全性等への影響

本製品群については、第三者評価機関などにより性能の検証を進めるとともに、お客様に対し個別にご報告し、誠実に協議を続けてまいります。現時点で、これまで本製品群を使用した最終製品に関して事故等の報告は受けておりません。安全性や製品の性能につきまして、今後もお客様のご協力を得て調査を継続してまいります。

4. 業績に対する影響

本件による業績への影響につきましては現時点では不明です。開示すべき重大な影響が見込まれると判断した場合には、速やかにお知らせいたします。

当社においては、これまでも社外取締役および監査役から構成される、執行機関からの独立性を確保した本件の対応委員会を主体として調査を継続しておりましたが、引き続き実態把握と原因究明に向けて同委員会を主体とする調査に取り組んでまいります。当社は、度重なる不適切な事案を重く受け止め、今後の調査と、既に実施した第三者による調査等も踏まえて、実効性のある再発防止策を策定し、確実に実施していくとともに、品質保証に係るプロセスを徹底的に見直し、適切な品質保証体制の再構築を早急に推進することで、信頼の回復に全力で努めてまいります。

以上

<p><お客様からのお問い合わせ先> 東洋紡株式会社 エンプラ事業総括部 電話:06-6348-3281 E-mail: Enpla_UL_Taioushitsu@toyobo.jp</p>	<p><報道関係者様からのお問い合わせ先> 東洋紡株式会社 サステナビリティ推進部 広報グループ 電話:06-6348-4210 FAX:06-6348-3443 E-mail: pr_g@toyobo.jp</p>
---	--